

①市野谷の森（通称：おおたかの森）

多様性 評価結果

市の鳥であるオオタカの生息が確認される市内有数の森林である。一定の希少種数が確認されているが、伸びているとは言えず、今後も生育環境の整備が必要である。

環境タイプ

森林 湿地 草地

モニタリング調査データ

調査項目

現在

3 項目（2016 年～）

調査項目

過去

2011～2012 年：3 項目（植・鳥・チ）、2013～2014 年：4 項目（植・鳥・チ・二）、2015 年：2 項目（鳥・チ）

鳥類

年

2018

2019

2020

2021

2022

2023

確認種数
(繁殖期・越冬期)

20

20

17

23

11

25

21

20

16

16

17

19

希少種

6

7

7

4

4

6

環境省
レッドリスト

オオタカ（NT）

チョウ類

年

2018

2019

2020

2021

2022

2023

確認種数

39

41

41

42

40

41

希少種

3

4

2

5

3

5

環境省
レッドリスト

該当なし

ニホン
アカガエル

年

2018

2019

2020

2021

2022

2023

卵塊数

64

144

375

440

170

211

担保・制約性 評価結果

県立公園は令和 12 年度まで、近隣公園は令和 6 年度末まで整備事業が行われる。整備が完了すれば、より市民が立ち入りやすくなることが見込まれる。保全に取り組むにあたっては、大部分が千葉県の管轄になるため、協議が必要である。また、例年子供向けの自然環境イベントを開催する会場としているため、市として今後も活用していきたい。

地権者

公有地

所管

全体面積・・・24.1ha
県立市野谷の森公園（18.5ha）⇒千葉県柏土木事務所公園街路課
市野谷の森西近隣公園（2.6ha）・市野谷の森東近隣公園（3.0ha）⇒流山市役所みどりの課

総合評価

市内中央に位置する市内有数の森林である。少ないながら一定の希少種が確認されており、今後の整備次第で希少種の生育が見込まれる。本拠点は、県立公園と近隣公園として整備が行われており、整備が終了すれば市民が立ち入りやすくなることが見込まれ、自然環境イベントを開催する会場としても魅力的である。本拠点の保全の取り組みにあたっては、大部分が千葉県の管轄になるため協議が必要となってくるが、市民にとっての「身近な森」として自然と触れ合える場所と保全する場所を分けて、保全に取り組むたい。

※調査項目 植：植物 鳥：鳥類 チ：チョウ類 カ：カヤネズミ ハ：ハイケボタル ニ：ニホンアカガエル

②市野谷水鳥の池

多様性 評価結果

植物のみの調査拠点であるが、数年を比較して大きな増減なく一定の種類数を確認できており、今後も希少種の生育が見込まれる。

環境タイプ	調整池 湿地 草地						
モニタリング調査データ							
調査項目	1 項目（2015 年～）						
植物	年	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	確認種数	139	149	102	150	146	138
	希少種	4	4	2	7	6	5
	環境省 レッドリスト	カワヂシャ（NT）、サクラソウ（NT）、タコノアシ（NT）、ミゾコウジュ（NT）					

担保・制約性 評価結果

調整池でありながら、自然環境を整備することを重視している貴重な市有地である。管轄である下水道建設課が、小学校の環境学習や環境イベントに利用することを視野に入れ、遊歩道や展望スペースの確保等の整備工事を実施したため、市民がより間近で自然に触れる機会が期待出来る。

地権者	公有地	所管	流山市役所下水道建設課
-----	-----	----	-------------

総合評価

植物のみの調査拠点であるが、種類は多く、希少種の数も大きな増減はなく一定の種類数が確認できており、今後も希少種の生育が見込まれる。調査は行っていないがさまざまな鳥類が観察できるなど、多様性の観点からも重要な場所である。おおたかの森駅や住宅街の付近にあり、市民にとって身近に自然と触れ合える場所として活用したい。

※調査項目 植：植物 鳥：鳥類 チ：チョウ類 カ：カヤネズミ ハ：ハイケボタル ニ：ニホンアカガエル

③西初石小鳥の森

多様性 評価結果

市内の自然保護団体が維持管理に携わっているため、環境に合った保全や整備が施されている。保全に取り組むにあたっても協力や意見を貰いやすい。また、市民団体や近隣の学校の行事として、ホタルの放流を実施していることから、市内でも有数のホタルが観測できる重要な箇所であり、保全に積極的に取り組むべきであると認識している。希少種の観測数自体は少ないものの、一定の観測数を記録している。また、ハイケボタルについては市内拠点で最も観測数が多い拠点の一つであり、良好な地形を生かし、引き続き重点拠点の一つと考える。

環境タイプ 谷津 斜面林 湧水 湿地

モニタリング調査データ

調査項目	現在	2項目（2017年～）					
	過去	2011年：3項目（植・鳥・チ）、2012年：4項目（植・鳥・チ・ハ）、2013～2014年：5項目（植・鳥・チ・ハ・ニ）、2015～2016年：0項目					
植物	年	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	確認種数	55	63	78	88	70	80
	希少種	2	2	3	2	3	2
	環境省 レッドリスト	キンラン（VU）					
ハイケボタル	年	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	確認種数	30	34	41	50	62	39

担保・制約性 評価結果

市内の自然保護団体が維持管理に携わっているため、環境に合った保全や整備が施されている。保全に取り組むにあたっても協力や意見を貰いやすい。また、市民団体や近隣の学校の行事として、ホタルの放流を実施していることから、市内でも有数のホタルが観測できる重要な箇所であり、保全に積極的に取り組むべきであると認識している。

地権者	公有地	所管	流山市役所みどりの課（維持管理は市内自然保護団体に委託）
-----	-----	----	------------------------------

総合評価

希少種は少ないものの、一定の観測数を記録していること、また、ホタルの観測ができることから多様性として高い評価をしている。拠点そのものが環境に合った保全や整備が施されていることもあるが、市民団体の協力もあり、今後も、植物をはじめとして様々な生物の観測が可能と考えている。市民団体だけでなく、近隣の学校の行事として、ホタルの放流を実施していることから、自然と触れ合える場所として活用したい。

※調査項目 植：植物 鳥：鳥類 チ：チョウ類 カ：カヤネズミ ハ：ハイケボタル ニ：ニホンアカガエル

④大畔の森（稲荷神社裏の谷津）

多様性 評価結果

植物相の希少種の観測数の増加が顕著である。ハイケボタルも一定数を観測し続けており、良質な水環境が維持されていると判断する。

環境タイプ

谷津 斜面林 湧水 湿地

モニタリング調査データ

調査項目

現在

2 項目（2017 年～）

過去

2012 年：1 項目（ハ）、2013～2014 年：2 項目（ハ・二）、2015～2016 年：1 項目（ハ）

植物

年

2018

2019

2020

2021

2022

2023

確認種数

137

136

59

190

188

174

希少種

2

2

3

10

13

12

環境省
レッドリスト

イヌハギ（VU）、ウスゲチョウジタデ（NT）、キンラン（VU）、サギソウ（NT）、ノジトラノオ（VU）

ハイケボタル

年

2018

2019

2020

2021

2022

2023

確認種数

8

17

11

39

27

29

担保・制約性 評価結果

市内の自然保護団体が維持管理に携わっているため、環境に合った保全や整備が施されている。保全に取り組むにあたっても協力や意見を貰いやすい。

地権者

公有地

所管

流山市役所みどりの課（維持管理は市内自然保護団体に委託）

総合評価

植物相の希少種の観測数の増加、ハイケボタルが観察できるなど、本拠点の保全がしっかり行われている。市民団体が維持管理に携わっており、それが本拠点の環境に合った形で施されている。希少種の増加が顕著かつホタルの観測ができる貴重な地点であるため、隣接している西初石小鳥の森と併せて保全に取り組むと共に、市民が自然に触れる場所として活用したい。

※調査項目 植：植物 鳥：鳥類 チ：チョウ類 カ：カヤネズミ ハ：ハイケボタル ニ：ニホンアカガエル

⑤大堀川

多様性 評価結果

確認種は一定数あるが、希少種の観測数が少ない。

環境タイプ

河川 湿地 河畔林 斜面林

モニタリング調査データ

調査項目

1 項目（2015 年～）

植物

年

2018

2019

2020

2021

2022

2023

確認種数

145

172

136

173

153

192

希少種

1

2

1

4

2

2

環境省
レッドリスト

カワヂシャ（NT）、ミゾコウジュ（NT）

担保・制約性 評価結果

千葉県の所管であるが、まちづくり推進課が整備事業を実施しているという実績がある。定期的に草刈りや遊歩道確保等の整備が行われ、市民の立ち入りのハードルは低くなっている。保全の取組みに関しては、草刈りの範囲、時期、程度を河川事務所と協議出来れば、多少多様性の回復の可能性はある。

地権者

公有地

所管

千葉県（柏土木事務所）

総合評価

希少種の観測数が少ない。定期的な草刈りや遊歩道確保等の整備が行われており、市民の立ち入りは可能となっていることから、身近に自然を感じられる場所として現状維持したい。

※調査項目 植：植物 鳥：鳥類 チ：チョウ類 カ：カヤネズミ ハ：ハイケボタル ニ：ニホンアカガエル

⑥利根運河

多様性 評価結果							
植物相、チョウ類では一定数が確認できる。他拠点と規模の違いはあるが、市内でも良質な水環境が維持されていると判断する。							
環境タイプ	草原 河川 河畔林						
モニタリング調査データ							
調査項目	現在	3項目（2017年～）					
	過去	2011年：3項目（植・鳥・力）、2012年：6項目（植・鳥・チ・力・ハ・ニ）、2013年：5項目（植・鳥・チ・力・ハ）、2014年：4項目（植・鳥・チ・ハ）、2015～2016年：2項目（植・チ）					
植物	年	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	確認種数	345	317	358	374	342	314
	希少種	13	9	10	13	9	8
	環境省 レッドリスト	ウスゲチョウジタデ（NT）、カワヂシャ（NT）、タコノアシ（NT）、ヌカボタデ（VU）、ノウルシ（NT）、ノカラムツ（VU）、ノジトラノオ（VU）、フジバカマ（NT）、ミゾコウジュ（NT）					
チョウ類	年	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	確認種数	32	35	38	32	32	34
	希少種	4	7	6	3	2	3
	環境省 レッドリスト	ギンイチモンジセセリ（NT）					
ハイケボタル	年	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	確認種数	33	19	4	4	3	7
担保・制約性 評価結果							
所管である江戸川河川事務所の協力の基、市民団体や自然と人を育む地域づくり推進協議会（旧利根運河協議会）が主体となり、保全活動が活発に実施されている。他の重点地区・拠点と比べて、積極的な環境保全が期待出来る。自然環境の保全や啓発に協力的な市民団体の活動拠点となっているため、市として活用しやすい地点である。							
地権者	公有地	所管	国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所				
総合評価							
保全活動が活発に実施されており、他の重点地区・拠点と比べて、積極的な環境保全が期待出来る。一定数の希少種を記録しており、確認種数も多い状態を維持していけるよう、各団体と連携の上保全に取り組んでいく必要がある。							

※調査項目 植：植物 鳥：鳥類 チ：チョウ類 力：カヤネズミ ハ：ハイケボタル ニ：ニホンアカガエル

⑦理窓会記念自然公園

多様性 評価結果

市内で最も多様な水環境の一つであり、拠点の中でも全指標を調査、観測できる貴重な拠点である。
今後も維持が望まれる。

環境タイプ	森林 草地 池 湿地						
モニタリング調査データ							
調査項目	現在	5 項目（2017 年～）					
	過去	2011 年：3 項目（植・鳥・カ）、2012～2013 年：6 項目（植・鳥・チ・カ・ハ・ニ）、2014 年：5 項目（植・鳥・チ・ハ・ニ）、2015～2016 年：3 項目（チ・カ・ニ）					
植物	年	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	確認種数	174	192	134	202	236	144
	希少種	2	5	3	6	6	7
	環境省 レッドリスト	キンラン（VU）、シデコブシ（NT）、ノジトラノオ（VU）、ヤブムグラ（VU）					
チョウ類	年	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	確認種数	33	38	39	40	42	43
	希少種	2	2	4	5	6	5
	環境省 レッドリスト	ギンイチモンジセセリ（NT）					
カヤネズミ	年	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	巣数	4	3	7	4	4	14
ハイクボタル	年	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	確認数	8	10	2	62	15	32
ニホン アカガエル	年	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	卵塊数	147	212	349	252	223	116

担保・制約性 評価結果

令和5年11月に、東京理科大学、流山市、野田市、市民団体等が協力し、敷地内の環境整備の一環として草刈りを実施した。東京理科大学は、当該敷地内の自然環境の維持、保全、整備に対し積極的である。また、野田市も同じく協力的であり、生物多様性保全に関するノウハウが充実している。東京理科大学、流山市、野田市の三者で包括連携協定を締結していることから、協働で保全や啓発に取り組めることが期待出来る。

地権者	民有地	所管	東京理科大学
-----	-----	----	--------

総合評価

東京理科大学、流山市、野田市、市民団体等が協力し、敷地内の環境整備を行うなど、本拠点が生物多様性の観点から重要であることは関係者全員が認識している。包括連携協定に基づき、協働で保全や啓発に取り組めることが期待出来る。また、拠点の中でも全指標を調査、観測できる貴重な拠点である。以上のことから、今後も関係者協力のうえ保全していくべき拠点である。

※調査項目 植：植物 鳥：鳥類 チ：チョウ類 カ：カヤネズミ ハ：ハイケボタル ニ：ニホンアカガエル

⑧西深井北西部

多様性 評価結果													
鳥類において顕著に希少種を観測している。他調査種で観測数が小さい結果も散見されるが、多様な種が観測できる貴重な拠点であると判断する。													
環境タイプ	草地 水田 斜面林 ヨシ原 畔 用水路												
モニタリング調査データ													
調査項目	現在	4項目（2019年～）											
	過去	2011年：3項目（植・鳥・カ）、2012～2013年：5項目（植・鳥・カ・ハ・ニ）、2014年：（植・鳥・ハ・ニ）、2015～2016年：4項目（鳥・カ・ハ・ニ）、2017～2018年5項目（植・鳥・カ・ハ・ニ）											
植物	年	2018		2019		2020		2021		2022		2023	
	確認種数	206		217		165		165		203		135	
	希少種	6		5		4		4		4		2	
	環境省 レッドリスト	ウスゲチョウジタデ（NT）、カワヂシャ（NT）、カンエンガヤツリ（VU）、ヒメタデ（VU）、ホソバイヌタデ（NT）											
鳥類	年	2018		2019		2020		2021		2022		2023	
	確認種数 （繁殖期・越冬期）	30	15	31	35	29	34	34	37	35	34	37	32
	希少種	15		15		17		15		18		18	
	環境省 レッドリスト	ケリ（DD）、サシバ（VU）、チュウサギ（NT）、ハイタカ（NT）、ハヤブサ（VU）、ヒクイナ（NT）、ミサゴ（NT）、ヨシゴイ（NT）											
カヤネズミ	年	2018		2019		2020		2021		2022		2023	
	巣数	7		5		1		18		2		1	
ハイケボタル	年	2018											
	確認数	33											
ニホン アカガエル	年	2018		2019		2020		2021		2022		2023	
	卵塊数	0		0		0		0		0		0	
担保・制約性 評価結果													
大規模物流倉庫等の建設に伴う草刈り等の人為的影響が大きく、また国や千葉県が所管していることから積極的な保全があまり期待できない。しかし、流山市の中でも希少な生物を観測出来る地点であるため、所管組織と協議して、草刈りの頻度、範囲、程度等を調整してもらえる可能性がある。													
地権者	公有地	所管	国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所										
総合評価													
多様な種類の生物、また、希少な生物が観測できる拠点である。しかし、大規模物流倉庫等の建設に伴う草刈り等の人為的影響が大きく、また国や千葉県が所管していることから積極的な保全があまり期待できない。そのため、所管組織と協議して、草刈りの頻度、範囲、程度等を調整し、本拠点を保全していく必要がある。													

※調査項目 植：植物 鳥：鳥類 チ：チョウ類 カ：カヤネズミ ハ：ハイケボタル ニ：ニホンアカガエル

多様性 評価結果

環境タイプ	森林	草地	池	湿地
-------	----	----	---	----

モニタリング調査データ

担保・制約性 評価結果

- 思井の森や熊野神社周辺の森は多くが民有地であるため、積極的な保全活動は困難である。しかし、貴重な極相林であり、開発の際は可能な限り森を残していく方針が定められているため、環境整備という面ではなく、出来る限り維持をするという面からの保全に取り組んでいきたい。

総合評価

- 野鳥の繁殖地になるなど貴重な拠点である。基本理念に野鳥観察を重視する旨が含まれており、今後も保全活動が期待出来る。また、住宅街の中に位置しているので、市民にとって身近に自然と触れ合

える場所として活用したい。

・坂川

江戸川河川事務所と草刈りの時期、頻度、範囲についての協議をし、多様性を保全することは出来る。元々の多様性自体が豊富ではないため、今後、環境を整備し、多様性が豊富になるよう河川事務所が主体的に動く必要があると考えている。

・熊野神社周辺の森

民有地が多く、積極的な保全は困難である。しかし、貴重な極相林であり、鳥類の希少種も観測していることから、開発の際は可能な限り森を残していく方針が定められており、「維持」という側面からの保全に取り組む必要がある。

※調査項目 植：植物 鳥：鳥類 チ：チョウ類 カ：カヤネズミ ハ：ハイケボタル ニ：ニホンアカガエル

⑩西平井水鳥の池

多様性 評価結果

希少種は一定数観測されているが、環境に乏しく今後の見込みが小さいこと、鳥類のみと調査する指標種も少ないため、評価として低い。

環境タイプ

調整池 草地

モニタリング調査データ

調査項目

1 項目（2016 年～）

鳥類

年

2018

2019

2020

2021

2022

2023

確認種数
(繁殖期・越冬期)

13

12

14

13

9

12

13

12

12

14

10

17

希少種

3

4

3

5

3

3

環境省
レッドリスト

コアジサシ（VU）、ハイタカ（NT）

担保・制約性 評価結果

野鳥が観察出来る場所として整備を実施する可能性はある。例えば、野鳥の生息を促進するために、ヨシ等の植栽や、浮島の設置等の人為的インパクトを与える必要がある。現状、周囲や水辺に植物類の生息がかなり貧相であるため、環境を整備するには、下水道建設課の協力に加えて、大きな時間やコストが必要になる。

地権者

公有地

所管

流山市役所下水道建設課

総合評価

希少種は一定数観測されているが、確認種数は少ない。環境が良好でないことから、周囲や水辺に植物類の生息がかなり貧相である。環境整備には多大な時間やコストが必要になり、積極的な整備が難しく、現状を維持していく必要がある。

※調査項目 植：植物 鳥：鳥類 チ：チョウ類 カ：カヤネズミ ハ：ハイケボタル ニ：ニホンアカガエル

⑪芝崎小鳥の森

多様性 評価結果

希少種を少ないながら記録している。今後整備により期待できる水環境が存在する。

環境タイプ 湿地 森林

モニタリング調査データ

調査項目 1項目（2015年～）

植物	年	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	確認種数	87	87	69	78	36	56
	希少種	6	6	5	3	4	3
	環境省 レッドリスト	キンラン（VU）					

担保・制約性 評価結果

遊歩道沿いには植栽された植物が多く、低木や下草は綺麗に伐採されているため、かなり人為的な整備が施されている。みどりの課主導で、市民団体等に依頼して、植物名が記載されたプレートや野鳥に関する看板等を設置したという経緯がある。奥には水辺があるが、整備されていない。今後、水辺環境を整備出来れば、野鳥や虫が生息する環境になることが期待出来るが、地権者が流山市ではないため、どこまで手を加えられるのかを要所に確認・協議をする必要がある。

地権者 民有地 所管 流山市役所みどりの課

総合評価

確認種数、希少種ともに少ない状況にある。今後の環境整備によっては、多様な種の生息場所となり得るが、民有地のためしっかりと協議しなければならない。市民団体の協力を得て実施していることもあり、水辺環境の整備などに向けて協議し、整備を進めていくことが必要である。

※調査項目 植：植物 鳥：鳥類 チ：チョウ類 カ：カヤネズミ ハ：ハイケボタル ニ：ニホンアカガエル

⑫野々下水辺公園周辺

多様性 評価結果

植物相の評価が低いものの、ニホンアカガエルが観測されること、また環境として周辺の谷津環境が影響しており今後も良質な環境が保たれると判断する。

環境タイプ	森林 湧水 河川							
モニタリング調査データ								
調査項目	現在	2項目（2019年～）						
	過去	2015年：1項目（鳥）、2016年：2項目（鳥・二）、2017～2018年：3項目（植・鳥・二）						
植物	年	2018	2019	2020	2021	2022	2023	
	確認種数	120	127	156	165	136	140	
	希少種	1	1	1	2	1	3	
	環境省 レッドリスト	ウスゲチョウジタデ（NT）、カワヂシャ（NT）、キンラン（VU）、マヤラン（VU）						
鳥類	年	2018	2019	2020	2021	2022	2023	
	確認種数 （繁殖期・越冬期）	19	20					
	希少種	9						
	環境省 レッドリスト	サシバ（VU）、ハイタカ（NT）						
ニホン アカガエル	年	2018	2019	2020	2021	2022	2023	
	卵塊数	25	37	30	22	4	4	

担保・制約性 評価結果

モニタリング調査を行っている野々下水辺公園周辺は、自然環境の良好な湿地や斜面林はほとんど民有地であり、積極的な保全に取組める期待は出来ない。道路にはみ出して生えている植物は定期的に草刈りが行われている。また、現在、調査は実施していないが鳥類も観測されているため、民有地内は生息環境が良好であることがうかがえるが、今後存続される環境かどうかの判断がつかない。野々下水辺公園自体は、人為的な整備がされている。

地権者	公有地 民有地	所管	流山市役所みどりの課、民有地
-----	------------	----	----------------

総合評価

植物の確認種数や希少種が多くはないが、ニホンアカガエルが観測されており、良好な湿地や斜面林があり良質な環境であると考えられる。ほとんどが民有地であり、積極的な保全は期待出来ず、定期的な草刈りが行われており、人為的な整備がされている。公園周辺では、都市計画道路の建設計画があり、今後、周辺環境が大きく変わることが考えられるため、その都度、状況に即した形で取り組めることを検討していく必要がある。

※調査項目 植：植物 鳥：鳥類 チ：チョウ類 カ：カヤネズミ ハ：ハイケボタル ニ：ニホンアカガエル

⑬総合運動公園周辺

多様性 評価結果

植物相の観測数は低いですが、鳥類は一定数を観測できる貴重な拠点である。公園整備が終了すれば観測数の向上も見込まれる。

環境タイプ 森林 草地 調整池

モニタリング調査データ

調査項目	現在	2 項目（2017 年～）											
	過去	2015～2016 年：1 項目（鳥）											
植物	年	2018		2019		2020		2021		2022		2023	
	確認種数	92		91		125		172		183		195	
	希少種	1		－		1		4		1		6	
	環境省 レッドリスト	カワヂシャ（NT）、キンラン（VU）、クゲヌマラン（VU）、タコノアシ（NT）											
鳥類	年	2018		2019		2020		2021		2022		2023	
	確認種数 （繁殖期・越冬期）	27	31	26	34	17	30	23	35	23	32	22	29
	希少種	8		6		10		5		5		7	
	環境省 レッドリスト	サシバ（VU）、トモエガモ（VU）、ハイタカ（NT）											

担保・制約性 評価結果

総合運動公園は流山市の所管であるが、周辺の谷津や水田は民有地であるため、積極的な保全活動は難しい。2020年頃に存在していた水田が埋め立てられてしまったという事例もあり、開発に伴い地権者がどのように運用していくかという不安定な要素も含んでいる。開発・整備が進んだ総合運動公園及びその周辺は、市民の出入りが増加することによる植物や鳥類への影響を最小限にする工夫が必要になる。

地権者	公有地	所管	・総合運動公園⇒流山市役所みどりの課 ・古間木調整池⇒千葉県（流山区画整理事務所） ・民有地
	民有地		

総合評価

植物は希少種が少ないものの、鳥類は一定数の観測ができる拠点である。公有地と民有地が混在しているため、積極的な保全活動は難しく、水田が埋め立てられてしまったという事例もある。地権者がどのように運用していくかによって変わっていくため、保全のためには協議が必要な場所である。開発、整備が進んだ総合運動公園及びその周辺は、市民の出入りが増加することが想定でき、周辺環境が大きく変わることが考えられるため、その都度、状況に即した形で取り組めることを検討していく必要がある。

※調査項目 植：植物 鳥：鳥類 チ：チョウ類 カ：カヤネズミ ハ：ハイケボタル ニ：ニホンアカガエル